

# 令和3年度 事業報告書

吉賀町社会福祉協議会

## 【目次】

I. 法人運営事業	2
II. 在宅福祉部	
《1》総合相談支援課	
〈1〉総合相談支援所	7
〈2〉吉賀町シルバー人材センター	15
〈3〉吉賀町地域包括支援センター	17
〈4〉吉賀町ケアマネセンター	21
〈5〉吉賀町訪問看護ステーション	23
〈6〉障がい者就労継続支援事業所アスノワ	26
《2》介護保険課	
〈1〉吉賀町ホームヘルパーステーション	29
〈2〉六日市デイサービスセンター	31
〈3〉七日市デイサービスセンター	33
〈4〉柿木村デイサービスセンター	35
III. 施設福祉部	
《1》特別養護老人ホームみろく苑	38
《2》特別養護老人ホームとびのこ苑	41
《3》グループホームあさくら	44
IV. 苦情・要望の内容一覧表	47

## I. 法人運営事業

《今年度の主な取り組みと評価》

○令和3年度は、理事及び評議員の改選があり、理事2名及び評議員5名が交代しました。

○令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の対応のため、週1回の定例会議と臨時会議を含め計52回の対策会議を開催しました。5月には法人内で新型コロナウイルス感染者が発生し、それに関連して利用者、職員あわせて251名にPCR検査が実施され、251名全員の陰性が確認されました。しかし約2週間にわたって事業規模の縮小や休業を行うこととなりました。

○介護職員処遇改善支援補助金及び福祉介護職員臨時特例交付金を活用し、職員種別・役割等級・職務に応じた全職員の賃金改定に向けて、給与体系を見直しました。

○在宅サービスの質の向上をはかるため、認知症介護、身体介護、看取り支援の研修を実施しました。地域住民に対してACPの普及を行い、事業所それぞれで、本人が望むその人らしい生活の実現を目指しました。特に施設・在宅ともに力を入れてすすめてきた「看取り」については、関係機関や事業所との連携を密に行い支援に取り組みました。また3つのデイサービスの機能転換に向けて、9回の検討会議を行いました。

○地域の中でのつながりを再構築することを目指して開始した「ちいさな集い」への助成は、当初予定していた20団体を大きく上回る申請があり、40団体へ助成を行いました。身近な地域の中で、様々な団体が立ち上がり、定期的に集まるだけでなく、見守りやお互いに支え合う活動も見られました。

小地域ネットワーク事業の見直しに向けて、地域に出向き、取り組み状況や事業の課題についてヒヤリングを行いました。地域の多様な課題に幅広く対応できるよう、従来の助成基準を見直し、新たに創設する「地域お助け事業」の制度設計につなげました。

- 施設福祉部を中心として、科学的根拠に基づいた自立支援介護について、月1回の研修を重ねて理解を深めました。それぞれの施設の特徴に応じて、介護の質の向上のみでなく、科学的介護推進体制加算、褥瘡マネジメント加算、栄養マネジメント加算等の取得に繋がりました。また施設サービスについては、前年度対比で稼働率が上がり報酬面でもプラスとなりました。
- 町内の老人保健施設の定員数や病院の在り方の検討が、現在も引き続きおこなわれており、社協が経営する施設機能の見直しについては、町の方針が示されたのち、慎重に協議をすすめていくこととしました。
- 頻発する自然災害への対応力を高めるため、山口大学大学院瀧本浩一准教授の助言のもと法人の防災計画を大幅に見直しました。災害時の組織体制、職員参集基準、施設入居者の避難行動などについて一定の基準を定めることができました。職員提案制度により発案された「社協避難所」について具体的な協議を重ね、社協の社会貢献として位置づけることができました。
- 全職員研修において、法人・事業所の目指すビジョンを説明し、目指す方向性を一致させるように努めました。新型コロナウイルスの感染防止を考慮し、オンラインや動画による受講も可能としたことで、ほとんどの職員が研修を受講することができました。事業所のビジョンに沿った個人の目標設定への助言も行い、目標援助制度を進めていくことができました。また社協に求められる職員像が明確になるよう、役割評価の基準を見直しました。

## [1] 活動体制

### (1) 役員

【令和3年4月1日～6月21日まで】

会長	石井 澄男	副会長	木村與志雄
理事	桑原 恒夫	理事	田村 惇
理事	平田 京子	理事	齋藤 弘子
理事	楨田 祥恵	理事	三家本博子
理事	永田 英樹	理事	滝元 理恵
監事	上田 重夫	監事	田村 俊則

【令和3年6月21日～】

会長	石井 澄男	副会長	木村與志雄
理事	桑原 恒夫	理事	田村 惇
理事	平田 京子	理事	槇田 祥恵
理事	堀江 英紹	理事	藤井 和子
理事	永田 英樹	理事	滝元 理恵
監事	上田 重夫	監事	田村 俊則

(2) 評議員

【令和3年4月1日～6月21日まで】

村上 貢	田口 忠功	赤松 正
小田 善史	横田通知雄	小田 圭二
村本 智	白井 秀雄	手島 秀知
植木由美子	能美 直文	朋澤 公香
小田 敦子		

【令和3年6月21日～】

村上 貢	赤松 正	吉岡 初枝
齋藤 幹子	河野 繁	小田 圭二
村本 智	永見 朋子	手島 秀知
植木由美子	能美 直文	朋澤 公香
前田 晴江		

(3) 理事会の開催

第1回	6月4日
第2回	6月21日
第3回	7月26日
第4回	9月17日
第5回	11月19日
第6回	2月17日
第7回	3月16日

(4) 評議員会の開催

第1回 6月21日  
第2回 8月3日  
第3回 9月28日  
第4回 11月29日  
第5回 2月28日  
第6回 3月24日

(5) 部会の開催

・管理部会 第1回 9月8日 第2回 12月20日  
第3回 3月1日  
・地域福祉部会 第1回 8月30日 第2回 9月7日  
第3回 3月10日

(6) 監事会の開催

第1回 5月31日 第2回 9月14日 第3回 10月12日  
第4回 11月11日 第5回 3月11日

(7) 職員数 215名（男性45名・女性170名）令和4年3月末

(8) 職員提案制度 提案数2件

[2] 研修等

研修内容	参加者
新任職員研修	新規採用 中途採用
全職員研修「ACP 人生会議」「権利擁護」「地域づくり」 「ハラスメント・コンプライアンス」	全職員
管理職研修「人事評価」「労務管理」「計算書類の読み方」 「法に関する Q&A」	主任・所属長
社会福祉法人会計実務研修	2名
防災計画策定に向けた研修	7名

労務管理研修	3名
社協トップセミナー（オンライン）	2名
地域福祉推進セミナー（オンライン）	1名
新型コロナウイルス感染症についての研修会	3名
インボイスについての研修	2名
国税庁インボイス制度の説明会（オンライン）	3名
包括的支援体制に関する研修会（オンライン）	2名
社協事務局長会議（オンライン）	1名
地域福祉推進委員会（オンライン）	1名
吉賀町防災会議	1名
災害ネットワーク協定連絡会議（オンライン）	3名
苦情処理第三者委員会	第三者委員 経営層
新型コロナウイルス感染症対策会議（毎月曜）	経営層

## II. 在宅福祉部

### 《1》総合相談支援課

#### 〈1〉総合相談支援所

##### 1、事業の主な取り組みと評価

コロナ禍で人と人との接触が遮断される中、住民同士のつながりを保つためにはどうすればよいか、新たな支え合いのしくみづくりについて協議を重ねました。

地域のつながりの強化、再構築を目指して、地域住民支援事業において開始した「ちいさな集い」は、当初予定していた20団体を大きく上回る申請があり、40団体へ助成を行いました。身近な地域の中で様々な団体が立ち上がり、定期的に集まるだけでなく、見守りやお互いに支え合う活動の場となりました。

地域の課題解決に向け、生活支援体制整備事業において、吉賀高校生との共同によりICTを活用した買い物支援に取り組みました。試験的な実施ではありましたが、多世代の地域住民と連携した地域づくりの第一歩となりました。また、フードバンクの取り組みとして、町内企業の協力により、フードバンクボックスを設置や、Amazon応援プロジェクトを活用し、全国から食品を協力いただくことが出来、食事に困っておられる方への支援の充実を図ることができました。

##### 2、事業実績

###### (1) 地域福祉事業

町内の福祉に関する情報や制度について社協だより（広報誌：くらしもっと）等を通じて発信し、福祉事業や社会福祉協議会への理解が深まるよう努めました。

社協会員の募集 160 地区： 1,769,000 円

種別	件数	金額
一般	1,689 件	1,674,000 円
賛助	26 件	52,000 円
団体	3 件	13,000 円
特別	10 件	30,000 円

社協だより（広報誌：くらしもっと）・福祉情報の発行：年 12 回



## (2) 住宅改良助成事業

在宅の高齢者や身体障害者及び介護者の日常生活が円滑に行えるよう、バリアフリー等への改良費として事業を推進しました。今年度 2 件の相談がありましたが、いずれも助成対象にはなりませんでした。

## (3) 心配事相談事業

地域住民の抱える人権問題・福祉問題等さまざまな心配ごとの相談に対しての解決策をみつけるため、福祉センター・公民館において相談事業をおこないました。

ふくし何でも相談会	12 回実施、相談件数	2 件
弁護士相談会	12 回実施、相談件数	35 件
行政書士相談会	4 回実施、相談件数	1 件
公証役場相談会	2 回実施、相談件数	3 件

## (4) ボランティア事業

ボランティア活動の推進として、ボランティア保険の加入手続きやボランティア組織への支援を行いました。また、小・中学生を対象にサマーボランティアスクールを開催し、街頭募金の体験を通して共同募金やボランティアの仕組みを学びました。参加者から「ボランティアや福祉の仕事について興味を持てた」等の感想が得られました。

ニーズにあったボランティアのマッチングを迅速に行うため、登録者の希望するボランティア活動のリスト化をすすめ、ボランティアを通じた地域の助け合いの強化や繋がりづくりに努力しました。

六日市福祉ゾーン周辺清掃活動	(コロナで中止)
柿木福祉ゾーン周辺清掃活動	(コロナで中止)
サマーボランティアスクール (小・中学生)	11 名
歳末たすけあい「おせち料理配食サービス」	183 名
訪問員配置事業 (契約に基づき独居等のお宅を月 1~2 回訪問)	
登録訪問員数	10 名
新規契約件数	5 件
契約利用者数	9 名

## (5) 小地域ネットワーク事業

住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう、地域の住民が主体となって、地域で助け合える組織づくりを推進するため、職員が地域に出向き、取り組み状況や事業の課題についてのヒヤリングを行いました。その情報を職員で共有し、互助力の向上に向けた地域の繋がり強化や地域の多様な課題に幅広く対応できる新たな「地域お助け事業」として繋げていけるよう話し合いを重ねました。

「黄色い旗運動」を実施したいと2地区から申請があり配布を行いました。

#### (6) 訪問給食事業（食の自立支援事業）

管理栄養士と連携のもと、安心な地元のお店と食材を活用し、栄養バランスと高齢でも食べやすい形態が考えられた食事を提供しました。配達は、安否確認も併せ、地域のボランティアにより行いました。配達時、体調不良に気づいて対応したケースが数件ありました。

新型コロナウイルス感染者町内発生時には行政の方針に基づき、調理場の利用ができず、町内の飲食店に食事を依頼し、職員が配達を行いました。

月曜日・木曜日に実施

利用登録者 : 112名

年間配食数 : 8,594食

配食ボランティア : 112名 調理ボランティア : 41名

#### (7) 地域住民支援事業

コロナ禍で活動が実施できない地区もありましたが、サロンリーダーが中心となり、地域それぞれの特色を生かした「ふれあいサロン活動」が行われ、互助によるコミュニティ強化につながりました。

また、今年度から「ふれあいサロン」よりもっと身近な地域で、住民が自発的に集まり運営する場として「ちいさな集い」事業を開始しました。地域の方が集うことで、地域のつながりを再構築し、住民同士の助け合い、支え合いを推進することを目的に助成を行いました。様々なグループが立ち上がり、定期的集まることで、見守りやお互いに支え合う活動の場となりました。

小さな集いへの助成 : 40団体

参加延べ人数 : 251人

サロン実施地区 : 35地区

開催延べ回数 : 174 回  
参加延べ人数 : 2,371 人  
車両貸出 : 5 地区

(8) ふるさと福祉事業（軽度生活援助事業）

在宅の独居高齢者などの自立した生活の継続を可能にするため、自宅の周りの草引きや清掃といった軽易な日常生活上の作業を行いました。

作業の要望が増え、協力者が 19 人から 21 名と増えました。

作業内容：屋内作業（居室の清掃）、屋外作業（自宅周辺の除草）

延べ利用者 : 54 名

延べ協力者 : 82 名

院内介助

延べ利用者 : 110 名

(9) 資金貸付事業（民生融金貸付）

低所得者に対し、日常生活上緊急に必要な資金を一時的に貸し付け、福祉の増進を図りました。相談に応じ申請書類作成の支援を行いました。また、長期滞納者に対して民生児童委員と連携を図りながら訪問し、償還指導を行いました。

貸付件数	13 件
新規貸付件数	9 件
新規貸付決定額	196,000 円
償還終了件数	14 件

(10) 生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯・障がい者世帯・高齢者世帯に対し経済的な自立を促す目的で資金の貸付を行いました。

生活福祉資金の相談を受け、申請書類等の作成を支援しました。滞納者に対し、県社協や民生児童委員と連携を図りながら償還指導を行いました。調査委員会を年 1 回開催し、適切な運営に努めました。

前年度に引き続き、コロナ禍で収入が減少した方への一時的な資金として、緊急小口資金の相談と貸付への対応を行い、生活の継続を支援しました。

総貸付件数	27件（内、緊急小口資金 15件）
新規貸付件数	5件
新規貸付決定額	1,680,000円
償還終了件数	0件
相談受付件数	9件

#### (11) 法人後見事業

成年後見人制度の利用啓発として、ふれあいサロンに出向き制度の説明、助言を行いました。益田・鹿足後見センターの定例会に毎月参加し、情報交換を行いました。

2022年3月末利用件数	6件
新規利用件数	3件
終了件数	0件

#### (12) 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

判断能力の不十分な方を対象に福祉サービスの利用にあたっての援助や相談支援、日常生活部分の金銭管理の支援を行いました。

利用者数	10名
新規利用者数	2名

#### (13) 吉賀町福祉センター管理運営事業

吉賀町から指定管理者として委任を受け、環境整備に努め福祉センターの適正な管理を行いました。台風の影響で雨漏りが発生し、業者による修繕を行いました。

利用しやすい施設を目指し、施設の予約簿を整備しました。町民の健康増進、研修、福祉団体の集まり等に対して、部屋の貸出を行いました。

大会議室	37回
中会議室	3回
小会議室	20回
トレーニング室	23回
調理室	7回

#### (14) 自立相談支援事業（生活困窮自立支援事業）

生活に困窮されている方の相談に応じ、困窮状態から早期に脱却できるよう、必要な情報提供や助言を行い、関係機関と連携しながら、本人の状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援により、自立の促進を図りました。

新規相談件数	23 件(男性 16 件、女性 7 件)
相談内容：病気	7 件
経済的困窮	6 件
就職困難	5 件
その他	5 件
支援実績 電話・連絡	213 回
訪問・同行支援	91 回
面接	62 回
他機関との調整	22 回
その他	48 回

#### (15) 生活支援体制整備事業

地域住民の誰もが住み慣れた場所で安心して暮らせるよう、地域のつながり、助け合える関係作りを推進する目的のもと、吉賀町内 5 か所の公民館単位で地域支え合い会議を開催しました。地域課題解決に向けた意見交換の中では、互助力の向上を意識した地域の中での課題解決の方法や地域づくりに関係する機関との連携について話し合いました。この会議で、住民の互助意識が高くなってきていることを改めて感じました。

フードバンクは、生活困窮者自立支援事業と連動し、コロナ禍で所得の減少となった方など、食事に困っておられる方への支援を実施しました。これまでは町内へチラシ等で協力を呼び掛けていましたが、今年度は、町内の郵便局 2 か所、サンマートにフードバンクボックスの設置、Amazon 応援プロジェクトの利用など町内の住民のみならず全国の方からフードバンク提供の協力ができる仕組みを作り、多くの支援を得ることができました。

地域課題として買い物支援について吉賀高等学校と連携し、アントレプレナーシップ教育の一環として、ICT を活用したリモート買い物を試験的に実施し、自宅にいても買い物ができる方法について検討しました。

- ・フードバンク利用延べ回数 953 回（利用世帯 22 名）
- ・食品提供に協力いただいた企業 7 社

(16) 家計改善支援事業（生活困窮者自立支援事業）

生活が困窮し、家計の見直しが必要な方に支援ツールを活用し、家計管理に関する助言を行いました。必要に応じて、法律相談や貸付事業の活用を促し、生活の再建や自立を促す支援を行いました。

新規相談件数	6件
家計支援	162回
支援実績 電話・連絡	4回
訪問・同行支援	65回
面接	29回
その他	64回

(17) 就労準備支援事業（生活困窮者自立支援事業）

就労経験がない方、長期間の仕事に従事することができていない方、仕事が長続きしない方等、就労へのつまずきがある方に対して、面談、ハローワークや企業への同行訪問を行い、仕事をしていく能力の向上に向けた支援を行いました。仕事の訓練の一つとして、社協だより（広報くらしもっど）の発送作業などの体験を通じ、就労に対する意欲向上への取り組みも行いました。

相談対応	25回
支援機関との合同面接・打合せ	4回
企業訪問	3回
その他	1件

3、 研修、会議

研修内容	参加人数
福祉委員研修会	48名
ふれあいサロンリーダー研修会	101名
ボランティア研修 (調理ボランティア対象：衛生管理研修会)	38名
小地域ネットワーク聞き取り調査	23か所
こども食堂開設検討会（社協、役場、教育委員会）	3回
福祉職員キャリアパス対応生涯研修初任者研修	2名
社協職員基礎研修	2名

災害ネットワーク協定連絡会議	2名
災害ボランティアセンター運営者養成講座	3名
出雲市災害ボランティアセンター運営支援	2名
ボランティアコーディネーター研修	2名
益田地区社会教育連絡会	1名
支え合いマップ勉強会（朝倉地区）	22名
ふれあいまちづくり支え合いマップ研修会議	3名
益田・鹿足成年後見センター	12回
相談支援従事者初任者研修	1名
ふくしの学び推進セミナー	2名
福祉教育実践研修会	2名
日常生活自立支援事業専門員研修	3名
日常生活自立支援事業研修会	2名
障がい者職業生活相談員資格認定講習	1名
第1回見守り訪問員研修会 7/23	7名
第2回見守り訪問員研修会 3/12	9名
子ども・若者への向き合い方を学ぶ研修	3名
ひきこもり支援従事者研修会	3名
生活困窮者自立支援人材養成研修	2名
オレンジセイフティーネット説明会	2名
地域支えあい会議 朝倉地区	2回
地域支えあい会議 柿木地区	2回
地域支えあい会議 六日市地区	2回
地域支えあい会議 蔵木地区	2回
地域支えあい会議 七日市地区	2回
地域支え合い推進会議	2回
生活支援コーディネーター情報交換会	2名
生活支援コーディネーター養成研修	3名
生活支援体制整備事業研修	2名
生活支援体制整備事業研修会（津和野町社協）	6名
地域T型集落点検（木部谷地区）	3名
地域支え合い研修会	12名

訪問員配置事業連絡会議	9名
リスクマネジメント研修一般職コース、管理職コース	3名
生活福祉資金調査委員会	10名
法人後見運営委員会	10名
成年後見制度連絡会議	2名

## 〈2〉 シルバー人材センター事業

### 1、 事業の主な取り組みと評価

シルバー人材センター設立から8年が経過し、地域から必要とされる事業所をめざして、企業や個人など地域からの要望に応えられるよう、会員に協力いただき、757件の仕事を受注しました。また、広報などを発行し、目標としていた「認知度」の向上に努めました。

会員数は目標の90名を達成することができ、働くことで高齢の方の生きがいがづくりになりました。

契約金額は目標金額1700万円に対し、1675万円で、達成率98.5%となりました。

### 2、 事業実績

会員数 90人(2022年3月末日)

新規入会者 4名

退会者 5名

1) 請負受注実績 受注件数 724件

配分金合計 14,362,321円

資材費合計 925,773円

事務費合計 1,431,099円

配分金総計 16,719,193円

2) 派遣受注額 受託件数 1件

就業延人数 9人

賃金 25,080円

手数料等 8,010円

合計 33,090円



3) 仕事別受注件数

除草作業・植木剪定	533 件
片付け・運搬・清掃など	120 件
障子・ふすま張替え	41 件
その他	63 件
合計	757 件

4) 作業中の人身事故

発生年月	内容
令和3年7月	チェーンソーによる切傷
令和3年7月	熱中症
令和3年8月	うるしによるかぶれ
令和3年11月	倒木による裂傷

5) 作業中の物損事故

発生年月	内容
令和3年6月	衝突による住宅窓ガラス破損
令和3年7月	飛び石による住宅窓ガラス破損
令和3年8月	飛び石による車両ガラス破損

3、 研修、会議

研修内容	参加人数
シルバー人材センター運営委員会 (6回)	67名
県シルバー事務局長会議 (2回)	2名
シルバー入会説明会 (1回)	9名
県シルバー安全指導研修会 (3回)	3名
県シルバー指導監査 (1回)	4名
派遣元責任者講習 (広島)	1名
石見地区事務局長会議 (日原)	1名
津和野介護予防研修 (日原)	2名

### 〈3〉吉賀町地域包括支援センター

#### 1、事業の主な取り組みと評価

認知症や単身高齢者、高齢者世帯の複合的な課題に対して、センター内の職員と関係機関との連携や認知症初期集中チームを活用し、早期に介入、解決できるように支援を行いました。在宅医療の普及啓発のため地域住民や職員に対するドキュメンタリー映画の上映会を開催、従事者向けACP研修会を実施しました。

また、吉賀町の実情や高齢者のニーズを把握するための健康づくりアンケート調査を実施し、今後の効果的な介護予防事業の展開のために、結果分析も行いました。

#### 2、事業実績

##### (1) 総合相談業務

気軽にできる相談窓口として、くらしもっと窓口内の部署と連携し、総合相談業務を行いました。関係機関の情報共有や意見交換と別に、各関係機関との連絡協議会等に参加し、現状把握と情報提供を実施しました。

新規相談件数	119件
施設サービスに関する相談	4件
要支援者・事業対象者等に関する支援	1,970件
地域密着型施設運営推進会議	15回参加
民生委員との意見交換会（各支部会）	4回参加

##### (2) 権利擁護業務

高齢になって様々な社会生活上の困難を抱えても、地域で自分らしく安心して生活できるよう権利侵害の予防や対応、権利行使の支援を行いました。虐待に関する相談や通報があった場合には、行政と連携をとりながら迅速に対応することを心がけて随時コアメンバー会議を開催しました。また高齢者・障がい者虐待対応専門職チーム（弁護士・社会福祉士）と定期的な相談会及び連絡会を開催し、虐待対応についての検討を行いました。

成年後見相談件数	9件（実人数4人）
益田鹿足後見センター定例会	6回
コアメンバー会議（実件数）	23回（10件）
高齢者・障がい者虐待対応専門職チーム相談会	8回

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

地域ケア会議の一部である個別ケース会議とケアマネジメント支援会議を開催し、ケース検討と地域課題の検討を行いました。また、いつまでも住み慣れたまちづくりのための医療・介護の連携推進を目的に、六日市病院・行政・保健所・各福祉事業所で定期的に在宅医療・介護連携会議を行い、事業所間の情報共有や入退院時の連携方法についての協議を重ねました。ACP に関連した住民向け、従事者向けの映画上映会の開催と多職種による研修会を開催しました。

個別ケース会議・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4回(2件)

ケアマネジメント支援会議・・・・・・・・・・・・・・・・ 11回

(ケアマネジメント支援会議での事例検討数 18件)

在宅医療・介護連携会議開催回数・・・・・・・・・・・・ 3回

(4) 介護予防ケアマネジメント業務

事業対象者及び要支援1、2の介護予防ケアマネジメントを行いました。介護予防ケアプラン件数は、昨年にくらべ年間合計22件、月平均2件の減少となりました。

a 介護予防支援（介護保険ケアプラン）

(単位：件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	43	45	44	45	44	44	45	43	44	47	45	49	538
要支援2	49	56	53	54	53	49	49	50	53	50	49	48	613
計	92	101	97	99	97	93	94	93	97	97	94	97	1151

b 介護予防ケアマネジメント（総合事業ケアプラン）

(単位：件数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事業対象者	13	14	15	14	12	13	13	11	11	12	14	14	156
要支援1	23	22	20	19	17	21	20	18	18	19	21	21	239
要支援2	15	14	15	14	13	14	13	14	12	11	11	13	159
計	51	50	50	47	42	48	46	43	41	42	46	48	554

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
合計(a+b)	143	151	147	146	139	141	140	136	138	139	140	145	1705

### 3、一般介護予防事業

若返り測定隊(教室版)	( 3 回実施 のべ 70 人参加)
若返り測定隊(出張版)	( 5 回実施 のべ 70 人参加)
骨折転倒予防教室	( 7 回実施 のべ 148 人参加)
からだ爽快教室	( 7 回実施 のべ 303 人参加)
認知症予防講演会	( 1 回実施 40 人参加)
食事の講座	( 1 回実施 21 人参加)
言語聴覚士サロン訪問	(実施なし)
作業療法士サロン訪問	( 4 回実施 のべ 47 人参加)
理学療法士サロン訪問	( 1 回実施 22 人参加)
管理栄養士サロン訪問	( 6 回実施 76 人参加)
シルバ人材センター健康講座	(1 回実施 15 人参加)

### 4、認知症対策事業

キャラバン・メイト養成講座	(新規参加なし)
認知症サポーター養成講座	(開催なし)
認知症介護者の会	(6 回開催 のべ 26 人参加)
キャラバン・メイト連絡会	(1 回開催)
認知症初期集中支援チームチーム員会議	(13 回開催)
認知症初期集中支援チームチーム員訪問	(9 件 25 回訪問)

### 5、障がい者相談支援

障害のある人が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう相談支援事業を実施しました。昨年度に比べ計画作成の合計は6件減少となりました。

[相談支援件数]

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
計画作成 (利用支援)	1	2	1	2	3	1	2	0	1	3	4	2	22
モニタリング (継続支援)	6	3	6	9	4	6	9	3	5	9	5	5	70

## 6、研修・会議

### (1) 研修

研修内容	出席者数
個別避難計画作成モデル事業成果発表	1名
介護支援専門員研修（専門Ⅰ）	1名
社協顧問弁護士研修	1名
入退院連携研修会	1名
地域包括支援センター職員基礎研修	2名
あいサポートメッセンジャーフローアップ研修	2名
ケアマネジメント研修会	1名
防災安全講演会	3名
認知症地域医療連携会議サポート医フォローアップ研修会	1名
高齢者虐待対応現任者標準研修	1名
認知症地域支援体制推進全国合同セミナー	3名
訪問看護ステーション研修会（初回訪問における全身アセスメントと生活アセスメント）	1名
家族理解ワークショップ	6名
島根県介護支援専門員協会研究大会	2名
地域包括支援センター職員基礎研修	2名
認知症初期集中チーム員研修	1名
ACP 研修会	7名
総合事業企画力向上セミナー	3名

### (2) 会議

成年後見センター総会及び定例会	6回
益田圏域認知症担当者連絡会	1名
益田圏域認知症ネットワーク会議	1名
益田圏域在宅医療・介護連携推進担当者連絡会	3名
認知症対策実務者会議	3名
地域支え会い会議	7名
地域支え会い推進会議	2名

## 〈4〉吉賀町ケアマネセンター

### 1、事業の主な取り組みと評価

保健・医療・福祉等との多職種連携や、ケアマネジメント研修、ケアプラン点検を通じ、アセスメントや見通しの立て方について学習し、自立支援、在宅生活を継続できるようなケアプラン作成に努めました。

ACP研修や医療機関等との連携を図りながら、退院後のスムーズな在宅支援に努め、5件の看取り支援を行いました。また、災害時等における利用者の安全確保のため社協避難所の開設に向けた取り組みを行いました。

全体としては、施設入所や長期入院、死亡により終了となるケースが多く、居宅サービス計画作成件数は、昨年度合計より120件、月平均は10件の減少となりました。職員は、事例検討や各種研修に参加することで介護支援専門員としての資質向上に努めました。

### 2、事業実績

#### (1) 居宅介護支援業務

1) 居宅サービス計画の作成 1,439件 (月平均 119.9件)

2) 要介護認定調査 7件 (月平均 0.6件)

3) 住宅改修支援事業 0件

4) サービス担当者会議開催

利用者毎自宅、病院等で開催(新規、更新時、変更時、入退院(所)時)

5) モニタリング

毎月の訪問、事業所との随時連絡調整

6) 給付管理

7) 地域包括支援センターとの連携

地域ケア会議 開催時

ケアマネジメント支援会議、事例提出

困難事例の相談、担当者会議の参加、同行訪問を依頼し支援の実施

要介護から要支援、要支援から要介護へ移行する高齢者に対して情報提供や

同行訪問を行い継続した支援の提供。

8) 関係機関との連携

医療介護連携会議 年4回

総合相談支援課連絡会議 年6回

認知症初期集中支援チーム員会議 年11回

退院・退所加算 37 件

入院時情報連携加算 52 件

9) その他

ケアマネ伝達会議毎週 1 回開催

介護支援専門員実務研修見学実習生受入 (コロナのため中止) 0 名

24 時間連絡体制を確保し、適宜相談業務実施

居宅介護支援提出状況

(単位：件数)

月別	介護給付					合計
	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
4 月	56	41	15	6	3	121
5 月	57	41	14	8	4	124
6 月	60	47	14	8	4	133
7 月	57	44	14	7	4	126
8 月	58	44	13	9	4	128
9 月	55	41	11	8	4	119
10 月	57	40	12	10	4	123
11 月	55	41	12	9	4	121
12 月	56	36	13	8	4	117
1 月	50	37	12	7	3	109
2 月	51	38	11	8	2	110
3 月	46	42	10	8	2	108
合計	658	492	151	96	42	1439

(要介護 1・2→12,374 円 要介護 3・4・5→16,077 円)

(2) その他の業務

- 1) 在宅福祉等に関する各種総合相談
- 2) 福祉用具の紹介
- 3) 保健福祉サービスの利用申請手続きの受付、代行、その他
- 4) シルバー・ボランティアセンターへの相談、連絡

### 3、研修、会議

研修名	参加者数
介護支援専門員更新研修 I	1 名
認定調査員新任研修	1 名
認定調査員研修	4 名
権利擁護研修	4 名
ハラスメント研修	4 名
コンプライアンス研修	4 名
地域支え合い研修	4 名
ACP 研修	4 名
益田圏域介護支援専門員協会主催 コロナ禍における入退院連携（オンライン）	3 名
地域づくり研修会	4 名
BCP 研修	4 名
避難行動要支援者、個別避難計画実務研修	1 名
認知症地域支援体制推進全国合同セミナー	1 名
オレンジセーフティー研修	1 名
認知症セミナー	1 名
島根県介護支援専門員研究大会	4 名
介護支援専門員全国大会研修	4 名
介護支援専門員ケアマネジメント研修	4 名
コーチング研修	1 名
医療介護連携会議	1 名
認知症初期集中支援チーム員会議	1 名
地域支え合い会議	
所属長会議	
職員会議	

#### 〈5〉吉賀町訪問看護ステーション

##### 1、事業の主な取り組みと評価

「地域で安心して自分らしく生活していくために切れ目のない在宅医療が提供できる」という目標のもと、利用者の思いや願いが実現できるよう、支援しました。特に看取りケアにおいて、コロナ禍で病院での面会が制限される中、在宅での看取りを



希望される方が増加し、ご本人や家族が人生の最期を自分が望む場所で迎えらるよう、心理的な支援を行い、家族の不安にも寄り添いながら7件の看取りを行うことができました。

また、切れ目のない在宅医療とより質の高い医療サービスの提供をめざし、島根医療情報ネットワーク「まめネット」を導入し、令和4年度から本格的な運用に向け、操作研修を実施しました。

一方、業務の役割分担を行い、効率的な仕事ができるよう努力しましたが、利用件数の増加もあり、業務量の調整や事務時間の確保等が課題となりました。

## 2、 事業実績

月別		介護保険		医療保険	合計
		介護給付	予防給付		
4月	実人数	27	13	7	47
	利用回数	130	36	33	199
5月	実人数	26	13	7	46
	利用回数	122	37	27	186
6月	実人数	28	14	8	50
	利用回数	134	40	38	212
7月	実人数	26	15	10	51
	利用回数	135	46	53	234
8月	実人数	26	12	10	48
	利用回数	126	39	63	228
9月	実人数	26	9	10	45
	利用回数	124	32	60	216
10月	実人数	26	14	11	51
	利用回数	120	49	60	229
11月	実人数	23	16	9	48
	利用回数	121	47	57	225
12月	実人数	23	13	9	45
	利用回数	108	41	43	192
1月	実人数	20	13	7	40
	利用回数	105	50	29	184
2月	実人数	19	12	7	38

	利用回数	98	37	23	158
3月	実人数	22	13	9	44
	利用回数	122	41	40	203
合計	利用回数	1445	510	526	2481

### 3、 研修、会議

研 修	参加者数
ACP 研修	7名
精神科訪問看護研修	2名
総合相談支援課内研修	5名
ハラスメント研修	7名
在宅福祉部課内研修	3名
認知症支援懇話会	1名
権利擁護研修	7名
フィジカルアセスメント研修中級編	2名
フィジカルアセスメント研修上級編	2名
新型コロナウイルス感染対策研修	3名
地域福祉研修	4名
初回訪問における全身アセスメントと生活アセスメント	7名
ウロストミー交換認定看護師による実践	8名
腹膜透析の手技と手順	2名
会 議	
ケアマネジメント会議	1名
リハビリカンファレンス	1名
地域福祉連絡会議	1名
医療介護連携会議	1名
地域支えあい会議	1名
益田圏域訪問看護支部会	1名
実務者会議	1名
訪問看護定例会	8名
所属長会議	1名

## 〈6〉障がい者就労継続支援事業アスノワ

### 1、 事業の主な取り組みと評価

「障がいのある人やひきこもりがちな人等が、住み慣れた地域で自立した暮らしができ、就労へ結びつくことができるよう支援する」ことを目標に、体験実習を通して新たに1名の利用登録がありました。また定期的に利用者と面談を行い、きめ細かな対応に努め、のべ利用者数は昨年度と比べ256人の増加につながりました。

今年度は事業所内作業の安定的な確保と工賃向上を目指し、「障がい者就労支援事業所設備整備補助金」及び「障がい者就労支援事業所工賃向上支援事業補助金」を活用しながら新事業の「ポン菓子の製造・販売」を開始しました。開始にあたっては、障がい者就労事業振興センターやほりうち商店等の指導を受けながらポン菓子の実演研修やマーケティング等の研修を行い、商品開発の会議を重ねながら職員一丸となって取り組むことが出来ました。また、保健所の指導を受けながら事業所内の衛生管理、設備整備を行うとともに、利用者の増加に伴いアスノワ事業所が狭小なため、七日市出張所の開設に向け準備を行いました。

### 2、 事業実績

#### (1) 利用実績

- 1) 利用者定員：20名
- 2) 利用状況：利用者平均年齢：61歳
- 3) 障害種別：身体・知的・精神・難病等

月	開所日数 (日)	利用者人数 (人)	延べ利用人数 (人)	1日平均 勤務時間 (H)	利用者 (1日平均利 用/定員)
4月	26	17	291	60.0	11.1
5月	17	16	161	31.5	9.4
6月	26	16	265	57.5	10.1
7月	26	17	274	54.7	10.5
8月	25	15	264	62.0	10.5
9月	26	16	284	62.9	10.9
10月	26	18	291	59.5	11.1
11月	26	16	307	69.6	11.8

12月	24	19	310	56.0	12.9
1月	24	18	308	59.8	12.8
2月	24	17	306	62.0	12.7
3月	27	19	348	63.8	12.8
合計	297	204	3,409	699.3	136.6

(2) 利用者への支払い工賃

- 1) 年間：2,856,120 円
- 2) 月間：14,001 円
- 3) 時間額：240 円

(3) 利用者の仕事内容

委託者	作業内容	収入額（年額）
とびのこ苑	館内の毎日清掃	1110,000 円
みろく苑	館内の毎日清掃	1500,000 円
七日市デイサービス	食事の配達・配膳	804,000 円
社協	福祉センター清掃	120,000 円
	配食弁当配達	112,500 円
	名刺	44,350 円
吉賀町	保健センター館内清掃	167,270 円
	サクラマス交流センター厨房・下水処理	250,905 円
	柿木庁舎庭清掃料	14,643 円
吉賀町農業公社	やくろトイレ清掃・周辺の環境整備	588,060 円
	らっきょう下処理等	66,808 円
	よもぎの選別	22,300 円
	ポン菓子受注生産	9,900 円
島根県障がい者就労事業振興センター	エコバック・まわたんぼ	117,632 円
あかまつ工業	部品の組み立て	1,458 円

いりり山賊錦店	よもぎの選別	4,550 円
その他	マスク、手芸品、裾直し等	283,181 円

(4) 利用者レクリエーション

実施月	内容	場所	参加者
12 月	お楽しみ会	柿木公民館	職員 6 名 利用者 17 名

3、 研修・会議

研修	参加人数
全職員研修・人生会議 (ACP: アドバンス・ケア・プライニング)	6 名
総合相談支援課内研修	2 名
マーケティング基礎知識研修 (ポン菓子開発と勉強会)	3 名
ほりうち商店 (ポン菓子実演見学)	2 名
全職員研修 (ハラスメント研修) ZOOM	6 名
工賃向上と経営数値・初心者向け研修 (浜田)	2 名
在宅福祉部内部研修 (津和野町社協)	3 名
全職員研修 (権利擁護研修)	5 名
障がい者就業・生活支援センターエスポア連絡会議	1 名
作業受託単価の決め方セミナー	1 名
ほりうち商店実演指導研修	6 名
マーケティングセミナー (商品の価値を誰にどのように伝えるか) (大田市)	2 名
引きこもり研修 (ZOOM)	1 名
ほりうち商店ポン菓子実演指導	6 名
全職員研修 (地域福祉)	6 名
販路拡大研修 (益田) ZOOM	2 名
商談力向上研修 (第 2 回) バイヤーに伝わる FCP シートの作り方	1 名

## 《2》介護保険課

### 〈1〉吉賀町ホームヘルパーステーション

#### 1、事業の取り組みと評価

多職種との連携を密にとり、利用者にとってより良いサービスを提供することに努めました。

身体介護の研修に参加することで、スキルアップをはかり、4件の看取りケアにおいて簡易浴槽での入浴・身体介護などサービスが充実できました。一方で、身体介護をすることに不安な職員もいたため、一部の職員に負担がかかることもあり、課題となりました。

介護老人保健施設六日市苑のベッド数減少に伴い、利用者が増加すると予測していましたが、介護保険事業は年度当初から利用者が増えることなく、入院や入所などで年間利用回数は728回の減少となりました。障害事業は利用回数115回の増加、移送サービスは利用回数40回の減少となりました。

毎月1回の職員会議では訪問内容の見直しを行い、業務改善に努めました。

#### 2、事業実績

##### (1) 介護保険事業

月別		総合事業			介護給付					合計	平均
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5		
4月	実人数	4	18	16	18	12	3	5	3	79	
	利用回数	20	81	88	117	168	22	74	8	582	19.4
5月	実人数	4	14	15	20	13	3	6	3	78	
	利用回数	19	64	75	111	189	25	50	15	548	17.7
6月	実人数	4	10	15	19	13	7	4	3	75	
	利用回数	18	36	90	167	204	47	25	9	596	20.4
7月	実人数	4	14	18	19	11	4	7	3	80	
	利用回数	14	68	91	138	181	35	70	13	611	19.7
8月	実人数	3	13	19	17	12	3	6	3	76	
	利用回数	15	55	100	120	170	32	57	10	559	18.0
9月	実人数	4	11	16	16	13	1	6	3	70	
	利用回数	17	47	86	105	156	4	69	13	497	16.6
10月	実人数	3	14	17	14	12	3	6	3	72	
	利用回数	11	68	86	123	147	26	41	12	514	16.6

11月	実人数	3	12	17	13	14	5	6	3	73	
	利用回数	18	52	97	92	172	52	64	11	558	18.6
12月	実人数	3	10	16	14	12	5	3	2	65	
	利用回数	13	45	89	96	149	68	42	8	510	16.5
1月	実人数	3	11	14	10	11	3	3	3	58	
	利用回数	14	50	60	62	144	42	41	11	424	13.7
2月	実人数	3	12	13	8	14	3	3	1	57	
	利用回数	15	51	53	58	145	46	40	4	412	14.7
3月	実人数	4	12	14	10	15	3	4	2	64	
	利用回数	21	64	60	81	178	52	55	19	530	17.1
合計	利用回数	199	712	946	1221	1965	446	682	135	6306	17.4

## (2) 障害者自立支援事業

障害者自立支援事業	利用者 16名	利用回数 665回
同行援護	利用者 1名	利用回数 22回
行動援護	利用者 1名	利用回数 22回
障害者移動支援事業	利用者 3名	利用回数 34回

## (3) 移送事業

月別	利用者数	利用回数
4月	28	92
5月	26	84
6月	29	109
7月	31	131
8月	26	95
9月	27	87
10月	23	61
11月	27	73
12月	22	72
1月	19	43
2月	21	49
3月	22	69
合計	301	965

(4) 生活管理派遣事業	利用者 2 名	利用回数	4 回
(5) 子育て支援ヘルパー	利用者 4 名	利用回数	57 回
(6) 軽度生活支援事業	利用者 26 名	利用回数	110 回

### 3、 研修・会議

研修名	参加人数
全職員大会・人生会議①	6 名
全職員大会・人生会議②	2 名
トランスファー研修	7 名
子育て研修	1 名
排泄介助研修	5 名
ハラスメント研修	7 名
権利擁護研修	7 名
調理実習	8 名
新型コロナウイルス感染対策研修	2 名
社協全体研修(地域福祉)	7 名
認知症研修	7 名
感染対策研修	3 名
顧問弁護士研修	1 名
強度行動障害支援者養成研修	1 名
相談支援従事者養成研修	1 名

#### 会議

担当者会議 職員会議 安全衛生委員会 地域支え合い会議  
リハビリテーション会議 ケアマネジメント会議

#### 〈2〉 六日市デイサービスセンター

##### 1、事業の主な取り組みと評価

利用者が安心して地域で住み続けられるよう、毎月百歳体操に取り組み、記録をすることで一人一人の頑張りの可視化に努めました。機能訓練についても希望者に個別に提供することができました。

コロナ禍で5月に2週間通常営業ができなかったため、5月の利用回数は昨年度に比べ283回減少しましたが、それ以外の月は安定して利用があり、年間の利用回数は10回減少、稼働率は70.2%と昨年度とほぼ同様の実績となりました。施設整備とし



ては、ベッド1台更新しました。

職員の研修については、社協内の他のデイサービスへの職場体験研修を行いスキルアップに努めました。

## 2、 事業実績

### (1) 介護保険事業

月別	稼働日	総合事業			介護給付					合計	平均	稼働率	
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5				
4月	実人数	22	4	16	11	20	11	4	0	1	67		
	利用回数		14	63	73	173	122	29	0	5	479	21.8	72.5
5月	実人数	21	4	15	10	21	11	4	1	1	67		
	利用回数		9	30	42	108	69	13	2	1	274	13.0	43.4
6月	実人数	22	4	15	11	23	10	5	2	2	72		
	利用回数		14	59	74	186	112	37	9	5	496	22.5	75.1
7月	実人数	22	4	14	13	21	10	5	2	1	70		
	利用回数		12	52	83	177	117	31	14	4	490	22.3	74.2
8月	実人数	22	3	16	12	22	11	2	2	1	69		
	利用回数		9	61	83	166	100	17	12	4	452	20.5	68.4
9月	実人数	22	2	17	12	20	11	3	2	1	68		
	利用回数		5	72	89	184	122	16	11	5	504	22.9	76.3
10月	実人数	20	2	18	13	22	11	5	1	1	73		
	利用回数		4	66	87	174	116	32	5	4	488	24.4	81.3
11月	実人数	22	1	17	13	21	11	4	2	1	70		
	利用回数		1	67	91	188	119	34	12	4	516	23.5	78.1
12月	実人数	23	1	16	12	18	9	7	2	1	66		
	利用回数		1	67	87	171	118	51	6	3	504	21.9	73.0
1月	実人数	20	2	14	10	15	11	6	2	1	61		
	利用回数		4	47	66	125	109	37	9	4	401	20.1	66.8
2月	実人数	20	3	15	11	15	10	4	2	1	61		
	利用回数		7	53	64	136	100	26	14	4	404	20.2	67.3
3月	実人数	21	2	14	12	13	13	4	2	1	61		
	利用回数		6	59	84	136	133	36	17	4	475	22.6	71.9

合計	利用回数	260	86	696	923	1924	1337	359	111	47	5483	21.1	70.2
----	------	-----	----	-----	-----	------	------	-----	-----	----	------	------	------

(2) 行事

療育音楽（毎月）	避難訓練
口腔ケア指導	警察官による講和（交通安全、詐欺被害防止について）
利用者外出（彼岸花）	

3、研修、会議

研修名	参加人数
所属長研修	1名
介護支援専門員専門研修Ⅱ	1名
特浴見学（特別養護老人ホーム美和苑）	2名
全職員研修（ACP）	7名
全職員研修（ハラスメント・コンプライアンス）	7名
全職員研修（権利擁護）	8名
全職員研修（地域福祉）	9名
新型コロナウイルス感染症対策研修	6名
職場内研修（リフト）	6名

〈3〉 七日市デイサービスセンター

1、事業の取り組みと評価

「心身ともに健康に。笑顔あふれる職場作り」を目標に利用者の心身の健康を維持するため外出の機会を持ち、通所時間を楽しく過ごしていただけるよう行事を多く取り入れました。特に喜ばれたのは「吉賀町観光ツアー」で懐かしい風景や生まれ育った町の再発見がたくさんあり、参加利用者からは笑顔が多く見られました。

コロナ禍で5月に2週間通常営業ができなかったこともあり、昨年度と比べ年間の利用回数は365回減少し、稼働率は64.6%となりましたが、利用者からの紹介でデイへの見学や機能訓練目的の新規利用の件数も増え、総合事業の利用回数は70回増加しました。施設整備としては、ベッド5台、椅子18脚の更新を行いました。

職員は利用者の健康状態を把握し状態の変化にいち早く気づき、リスク管理や知識、技術の向上が行えるよう年間で6回勉強会に参加しました。

## 2、事業実績

### (1) 介護保険事業

月別	稼働日	総合事業			介護給付					合計	平均	稼働率	
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5				
4月	実人数	22	3	6	11	7	6	2	1	2	38		
	利用回数		14	24	66	74	42	0	14	19	253	11.5	63.8
5月	実人数	14	5	6	14	6	6	0	1	2	40		
	利用回数		10	12	48	32	27	0	8	14	151	7.2	59.9
6月	実人数	22	5	5	12	6	7	0	1	2	38		
	利用回数		20	23	75	66	42	0	16	18	260	11.8	65.6
7月	実人数	22	5	6	11	7	5	0	1	2	37		
	利用回数		20	22	73	72	34	0	9	20	250	11.3	63.1
8月	実人数	22	5	5	12	9	4	0	1	2	38		
	利用回数		20	21	73	81	26	0	13	18	252	11.5	63.6
9月	実人数	22	5	5	10	11	6	0	1	2	40		
	利用回数		21	23	58	101	32	0	8	16	259	11.8	65.4
10月	実人数	21	5	5	9	10	6	0	0	2	37		
	利用回数		19	18	68	90	37	0	0	17	249	11.9	65.8
11月	実人数	22	4	5	10	10	7	1	0	2	39		
	利用回数		17	20	67	92	52	4	0	15	267	12.1	67.4
12月	実人数	23	4	6	9	12	6	2	0	1	40		
	利用回数		17	26	67	91	42	11	0	13	267	11.6	64.4
1月	実人数	20	5	6	7	11	6	2	0	1	38		
	利用回数		15	23	46	78	25	8	0	10	205	10.8	56.9
2月	実人数	20	6	9	7	11	6	1	0	0	40		
	利用回数		23	25	48	87	37	7	0	0	227	11.4	63.0
3月	実人数	23	6	8	8	12	3	1	0	0	38		
	利用回数		30	34	60	99	34	9	13	24	303	13.2	73.1
合計	利用回数	253	226	271	749	963	430	39	81	184	2943	11.6	64.6

## (2) 行事

初詣	七日市公民館（鶴亀参加）	千年杉見学
吉賀町観光ツアー	口腔ケア指導	利用者作品展覧会
入浴剤づくり	吉賀高校アントレ（2件）	七夕
ゆずみそ作り	百寿誕生日会	花見（アジサイ）
お花見（桜）	風鈴づくり	ゆず風呂
避難訓練	ネイルサロン	
体力測定	社協だより「題字コンテスト」	

## 3、研修・会議

研修名	参加人数
全職員研修（ACP）	4名
全職員研修（コンプライアンス・ハラスメント）	4名
全職員研修（権利擁護）	4名
全職員研修（地域福祉）	4名
所属長研修（顧問弁護士）	1名
在宅福祉部研修（地域のお宝さがし）	4名
職場内勉強会（褥瘡について）	デイ3名、訪問看護5名
職場内勉強会（感染症について）	4名
職場内勉強会（バルーンパック）	4名
職場内勉強会（血圧測定）	5名
職場内勉強会（意識障害）	4名
職場内勉強会（難聴）	4名
介護支援専門員研修	1名

在宅リハ会議 介護予防指導会議 ケアマネジメント支援会議地域支えあい会議  
 リハビリカンファレンス、意見交換会（六日市病院）

## 〈4〉 柿木村デイサービスセンター

### 1、事業の主な取り組みと評価

今年度は利用者と一緒に畑で野菜作りを行い、収穫した野菜で3回調理実習を行いました。利用者にも喜ばれ、職員にとってもやりがいのあるイベントとなりました。

コロナ禍で5月に2週間通常営業ができなかったことと、その後も利用者数が伸びず、昨年度と比べ年間の利用回数は536回減少、稼働率は58%となりました。

昨年度から作業療法士が配属となり、専門的な視点から個別機能訓練に取り組むことができました。新しい加算の個別機能訓練Ⅱ、口腔栄養スクリーニングにも挑戦し、

算定することができました。

業務の効率化としては、昨年度から行っていた iPad での実施記録、更に計画書をほのぼので作成することで記録の電子化を行い、他事業所との連携も図る事ができました。

施設整備としては、ボイラー室の天井の修繕、オイルサービスタンク液面計発信部及び一次指示計の更新を行いました。浴室の老朽化による水漏れ等については、今後本格的な改修に向け検討することになりました。

学習と成長の視点としては、コロナ禍で外部研修に行くことができませんでしたが、内部の研修や社協の全職員研修に参加しスキルアップを図りました。

## 2、実施事業

### (1)介護保険事業

月別	稼働日	総合事業			介護給付					合計	平均	稼働率	
		事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5				
4月	実人数	22	3	4	12	12	16	5	2	0	54		
	利用回数		9	13	81	101	167	50	16		437	19.9	66.2
5月	実人数	16	2	5	11	10	16	4	2	0	50		
	利用回数		4	7	40	45	78	21	8		203	12.7	42.2
6月	実人数	22	3	4	12	10	16	3	2	0	50		
	利用回数		11	19	74	97	165	28	10		401	18.2	60.8
7月	実人数	22	2	4	11	9	15	5	1	0	47		
	利用回数		8	14	67	89	152	45	10		385	17.5	58.3
8月	実人数	22	2	5	10	10	15	5	2	0	49		
	利用回数		8	19	65	96	156	38	19		401	18.2	60.8
9月	実人数	22	3	6	8	10	13	3	4	0	47		
	利用回数		11	21	58	112	138	23	35		398	18.1	60.3
10月	実人数	21	3	6	8	13	13	2	5	0	50		
	利用回数		9	23	54	109	117	23	36		371	17.7	58.9
11月	実人数	22	3	5	9	13	11	3	5	0	49		
	利用回数		7	18	65	126	113	24	40		393	17.9	58.0
12月	実人数	23	3	5	9	12	10	2	3	0	44		
	利用回数		10	19	67	122	117	19	43		397	17.3	57.5

1 月	実人数	20	2	7	10	10	11	2	2	0	43		
	利用回数		4	25	63	104	92	20	30		338	16.9	56.3
2 月	実人数	20	2	7	9	12	10	2	2	0	44		
	利用回数		7	22	63	109	79	17	31		328	16.4	54.7
3 月	実人数	23	2	8	8	11	9	2	4		44		
	利用回数		6	32	71	112	87	23	59		390	17.0	56.5
合計	利用回数	255	94	232	768	1219	1461	331	337		4442	17.4	

## (2) 行事

誕生会（毎月）	所外活動（年2回 花見、紅葉狩り）
調理実習（カレー作り、シチュー作り、スイートポテト、焼き芋、漬物、切り干し大根）	
ものづくり工作（毎月）	

## 3、研修、会議

研修名	参加人数
全職員研修:人生会議	6名
全職員研修:ハラスメント研修	5名
全職員研修:権利擁護研修	6名
全職員研修:コンプライアンス 地域福祉	5名
職場内研修:感染防止研修	10名
新任職員マナー研修	1名
地域力研修	1名
交通マナー研修	2名
感染防止研修	1名
労務研修	1名
弁護士研修	1名

職員会議（毎月）、サービス担当者会議、安全衛生委員会

### Ⅲ. 施設福祉部

#### 《1》 特別養護老人ホームみろく苑

##### 1、事業の取り組みと評価

みろく苑の運営理念である「ご利用者様に対し尊敬、思いやりの心で接し自律した生活の支援」を実践するために、委員会活動等を日々のケアの中で意識的に取り組み理念が浸透できるよう努めました。

新型コロナウイルス感染症の標準予防対策を各職員が徹底し、入居者の体調管理を行いました。また、感染症対策等様々な制限がある中での看取り介護でしたが、家族への配慮を行いながら最期の時までその人らしく過ごしていただきました。入居者の入院、空床は前年度に比べ減少し稼働率は97.9%で目標を上回り、短期入所についても76.5%で目標稼働率を達成しました。

自立支援介護の勉強会は、オンラインでの受講となりましたが、科学的根拠に基づいた介護について学びを深めました。また、専門性向上の為の研修会へ積極的に参加して、褥瘡マネジメント加算、安全対策体制加算の取得に結びました。委員会活動では、役割や責任を明確化することにより活動も徐々に活性化して、各委員を中心に研修会の開催や加算取得に向けての準備にも取り組みました。

施設整備については、厨房の換気扇の修繕工事を行いました。

##### 2、事業実績

###### (1) 動向

月	入居者	退居者	入院者数	入院延べ日数	2年度入院者数 (苑全体)	2年度入院延べ日数 (苑全体)
4月	1名(地域)		2名(小) 0名(地)	37(小) 0(地)	3名	28日
5月		1名(小規模)	3名(小) 0名(地)	23(小) 0(地)	5名	120日
6月	1名(小規模) 1名(地域)	1名(地域)	3名(小) 1名(地)	41(小) 5(地)	5名	54日
7月	1名(小規模) 1名(地域)	1名(小規模) 1名(地域)	4名(小) 0名(地)	49(小) 0(地)	3名	35日

8月			1名(小) 1名(地)	22(小) 19(地)	2名	25日
9月			0名(小) 1名(地)	0(小) 18(地)	2名	16日
10月			0名(小) 0名(地)	0(小) 0(地)	2名	19日
11月			1名(小) 0名(地)	10(小) 0(地)	1名	6日
12月	1名(小規模)	1名(小規模)	1名(小) 0名(地)	4(小) 0(地)	5名	72日
1月	1名(地域)	1名(地域)	0名(小) 1名(地)	0(小) 15(地)	4名	72日
2月	1名(地域)	2名(地域)	2名(小) 2名(地)	11(小) 27(地)	3名	69日
3月	1名(地域)		3名(小) 0名(地)	52(小) 0(地)	4名	76日
合計	9名	8名	26名	333日	39名	592日

(2) 介護度別人数

月	要 介 護 度					平均値
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	0	3	12	16	19	4.0
5月	0	3	12	18	17	4.0
6月	0	3	11	18	18	4.0
7月	0	3	11	18	19	4.1
8月	0	3	10	16	21	4.1
9月	0	2	10	18	20	4.1
10月	0	2	10	18	20	4.1
11月	0	2	12	16	20	4.1
12月	0	2	13	16	20	4.1
1月	0	2	13	16	20	4.1
2月	0	2	13	15	22	4.1
3月	0	2	13	12	23	4.1



### (3) 短期入所生活介護サービス利用状況

月別	前年度のべ利用者数	今年度のべ利用者数	稼働率
4月	62	181	75.4
5月	80	224	90.3
6月	149	170	70.8
7月	201	182	73.4
8月	196	213	85.9
9月	167	200	83.3
10月	188	179	72.2
11月	179	160	66.7
12月	157	197	79.4
1月	185	186	75.0
2月	144	174	77.7
3月	156	168	67.7

### 3、研修、会議

研修名	参加人数
全職員研修	46名
入職時研修（随時）	5名
事故報告書作成について/感染予防（ガウンテクニック）	29名
権利擁護研修（自己覚知について）	39名
権利擁護研修（尊厳のある食事介助について）	29名
認知症高齢者の権利擁護について	40名
新型コロナウイルス感染対策研修会	8名
認知症研修（アセスメントとケアの実践の基本）	7名
ACP研修	46名
看取り指針について	19名
地域作り研修	34名
褥瘡のメカニズム研修/感染予防（ゾーニング等）	33名
ハラスメント研修	44名
介護事故について	36名
全身アセスメント・フィジカルアセスメント	2名
認知症介護基礎研修	1名

ユニット管理者研修	1名
人事評価制度についての研修会	6名
認定調査研修会	1名
Y Y K (より良い介護)	延べ 89名

## 《2》 特別養護老人ホームとびのこ苑

### 1、事業の取り組みと評価

とびのこ苑での生活を継続していただくために、多職種連携で生活支援を行いましたが、入居者の重度化、高齢化により入院が常時あったため 95.6%となり、前年度を上回りましたが目標稼働率は達成できませんでした。短期入所については、新型コロナウイルス感染防止のため5月の受け入れを中止したことも要因となり、稼働率が伸びず、84.2%にとどまりました。新たな加算については年度途中の8月から科学的介護推進体制加算、褥瘡マネジメント加算、栄養マネジメント強化加算を取得することができました。

自立支援介護の取り組みについては、数名の入居者を対象に介入後の状態の変化をデータ化し、アセスメントを行い、新たな介入方針を立てるという取り組みを行いました。看取りについては、最期の日までをその人らしく過ごせること、安楽で安心できる環境を提供することに努め、できるだけご家族との時間が持てるよう感染対策にも配慮しながら6名の方の看取りを行いました。

その他、感染症や災害時にも事業を継続するため BCP を策定、地域密着型ホール等のエアコン更新を行いました。また入居者の預かり金について、JAの業務縮小や県からの指導もあったため、今年度で廃止しました。

### 2、事業実績

#### (1) 動向

月	入居者	退居者	入院者数	入院延べ日数	R2 年度入院者数 (苑全体)	R2 年度入院延べ日数 (苑全体)
4月	1名(小規模)	1名(地域)	2名(小) 2名(地)	49(小) 25(地)	6名	104日
5月		1名(小規模)	5名(小) 2名(地)	45(小) 18(地)	6名	37日

6月	1名(小規模)	1名(小規模)	4名(小) 3名(地)	25(小) 33(地)	8名	55日
7月	2名(小規模) 1名(地域)	2名(小規模) 2名(地域)	5名(小) 1名(地)	61(小) 6(地)	6名	96日
8月	1名(小規模) 1名(地域)		2名(小) 1名(地)	14(小) 14(地)	6名	75日
9月		1名(小規模)	2名(小) 3名(地)	11(小) 33(地)	8名	110日
10月	1名(小規模) 1名(地域)	2名(地域)	3名(小) 3名(地)	30(小) 38(地)	7名	95日
11月	2名(小規模) 1名(地域)	2名(小規模)	5名(小) 5名(地)	38(小) 55(地)	5名	63日
12月	1名(地域)	1名(地域)	1名(小) 2名(地)	8(小) 46(地)	3名	14日
1月	1名(地域)	1名(小規模) 1名(地域)	1名(小) 3名(地)	3(小) 37(地)	7名	51日
2月	2名(小規模) 1名(地域)	1名(小規模) 1名(地域)	1名(小) 1名(地)	2(小) 9(地)	6名	63日
3月			2名(小) 1名(地)	12(小) 9(地)	5名	71日
合計	17名	17名	60名	621日	73名	834日

(2) 介護度別人数

月	要 介 護 度					平均値
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	
4月	0	1	9	20	20	4.2
5月	0	1	9	20	20	4.2
6月	0	1	8	22	19	4.2
7月	0	1	8	24	19	4.2
8月	0	1	7	23	19	4.2
9月	0	1	7	23	19	4.2
10月	0	1	6	25	19	4.2
11月	0	1	8	23	20	4.2
12月	0	1	7	24	19	4.2

1月	0	1	8	19	23	4.3
2月	0	1	8	21	22	4.2
3月	0	1	8	19	24	4.3

(3) 短期入所生活介護サービス利用状況

月別	前年度延べ利用者数	今年度延べ利用者数	稼働率%
4月	0	84	70.0
5月	0	120	96.8
6月	38	78	65.0
7月	98	100	80.6
8月	86	107	86.3
9月	92	132	110
10月	105	116	93.5
11月	88	95	79.2
12月	83	102	82.3
1月	94	118	95.2
2月	82	86	76.8
3月	95	91	73.4

3、研修、会議

研修名	参加人数
全職員研修 (ACP 研修)	45名
人事評価面接について	3名
虐待防止研修	33名
認知症ケア研修	35名
オムツ研修	32名
全職員研修 (ハラスメントについて)	43名
感染症研修 (BCP 研修)	36名
KYT 研修	32名
虐待防止研修	35名
排泄について勉強会	5名
褥瘡予防研修	25名

全職員研修（権利擁護）	37名
排泄ケア研修	12名
AED研修	41名
全職員研修（地域づくり）	33名
コロナ対策研修	41名
看取り研修	34名
安全管理研修	22名
新人マナー研修	1名
介護事業経営研修	1名
認知症実践者研修	1名

### 《3》 グループホームあさくら

#### 1、事業の取り組みと評価

令和3年度の重点目標である「個人の尊厳や意思を尊重したその人らしい生活」に向けた支援の実践を目指しました。新型コロナウイルスの感染防止のため、地域活動が中止されたり、行動が制限される中でも、貴重な機会を活かして3名の入居者がふれあいサロンへ参加することができました。入居者と一緒に毎日の昼食を手作りすることを新たにはじめ、コロナ禍で単調な生活を余儀なくされる中でも、可能なことを続けていきながら体力保持に努め、同時にその人らしい生活が続けられるよう支援しました。

科学的根拠に基づいた介護の理解を深めるため、今年度新たにタブレット端末を導入したところ、全職員入力作業ができるようになり、データ・情報管理が容易になりました。

各医療機関や訪問看護、栄養士との連携のもと入居者の健康管理に努めた結果、稼働率が99%となり、目標を達成することができました。また新たな加算として、栄養管理体制加算、サービス提供体制加算Ⅰを取得することができました。外部研修が中止となったため、社協内での研修にできる限り全員参加するよう努めました。

## 2、事業実績

### (1)利用状況

(単位：人・日・%)

	利用者数	延利用者数	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	稼働率
4月	9	270	0	1	4	4	1	0	100
5月	9	279	0	1	4	4	1	0	100
6月	9	270	0	1	4	4	1	0	100
7月	9	279	0	1	4	4	1	0	100
8月	9	279	0	1	4	4	1	0	100
9月	9	264	0	1	4	4	1	0	97.8
10月	9	276	0	1	4	4	1	0	98.9
11月	9	270	0	1	4	4	1	0	100
12月	9	279	0	1	4	4	1	0	100
1月	9	279	0	1	4	4	1	0	100
2月	9	247	0	1	4	4	1	0	98.0
3月	9	261	0	1	4	4	1	0	93.5
合計		3253	年間稼働率 $3253 \div (365 \times 9) = 99\%$						

### (2)通所介護

(単位：人・回)

	利用者数	延利用者数	支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
4月	2	23	0	0	19	4	0	0
5月	2	12	0	0	8	4	0	0
6月	2	25	0	0	21	4	0	0
7月	2	19	0	0	17	2	0	0
8月	2	21	0	0	16	5	0	0
9月	2	19	0	0	15	4	0	0
10月	3	21	0	0	16	5	0	0
11月	2	22	0	0	17	5	0	0
12月	2	13	0	0	9	4	0	0
1月	2	21	0	0	16	5	0	0
2月	2	15	0	0	12	3	0	0
3月	2	18	0	0	14	4	0	0
合計		229	0	0	180	49	0	0

### (3) 行事

戸外活動 ～お花見、外出支援（散髪、受診）、紅葉狩り、など  
百歳体操（ホーム内）、地域サロン参加  
毎日の昼食作り（3月より実施）、手作りおやつ  
誕生日会、敬老会、  
畑作業、花壇作り

### 3、研修、会議

研修名	参加人数
人生会議（アドバンス・ケア・プランニング）	9名
権利擁護研修	9名
ハラスメント研修	9名
看取りケア研修（映画上映会）	10名
社協全職員研修（地域の実態と地域づくりについて）	9名
新型コロナウイルス感染症対策研修	1名
ACP研修（吉賀町でACPを実践するために）	3名
認知症介護基礎研修	1名
認知症対応型サービス事業者管理者研修	1名

#### IV. 苦情・要望の内容一覧表

	発生時期	部署・事業所	苦情・要望の内容
1	4月	総合相談支援所	生活福祉資金の貸付手続き 地域住民への対応
2	5月	六日市デイサービス	新型コロナウイルス感染防止に関連した 利用者への対応
3	7月	六日市デイサービス	ケアの内容について
4	7月	とびのこ苑	ケアの内容について 利用者家族への説明について
5	8月	総合相談支援所	訪問給食のサービスについて
6	8月	シルバー人材センター	サービスの内容について
7	10月	アスノワ	他機関との連携について
8	3月	訪問看護ステーション	ケアの内容について